

平成28年台風第10号災害を踏まえた課題と対策の在り方(報告)【概要版】

平成28年12月26日
避難勧告等の判断・伝達マニュアル
作成ガイドラインに関する検討会

岩手県岩泉町の高齢者施設が被災する等した、平成28年台風第10号災害における課題及び改善点をとりとまとめた。

主な課題

【課題①】 避難勧告等を受け取る立場にたった情報提供の在り方について

- 被災した高齢者施設の管理者は、避難準備情報が高齢者等の避難開始を知らせる情報であるということを理解していなかった。

【課題②】 要配慮者の避難の実効性を高める方法について

- 高齢者施設等の災害計画は、火災を中心とした計画が多く、水害等からの避難について記載されていないことが多い。

【課題③】 躊躇なく避難勧告等を発令するための市町村の体制構築について

- 住民からの電話対応に追われ、発令する段階であることが町職員から町長に報告されなかった。

主な改善点

避難勧告等を受け取る立場にたった情報提供の在り方

- 避難勧告等を発令する際には、その対象者を明確にするとともに、対象者ごとにとるべき避難行動がわかるように伝達すること

要配慮者の避難の実効性を高める方法

- 高齢者施設等の管理者は、水害からの避難に関する計画を作成するとともに、自治体が定期的にその内容を確認すること

躊躇なく避難勧告等を発令するための市町村の体制構築

- 全庁をあげて災害時の業務を役割分担する体制や、発令に直結する情報を首長が確実に把握できるような体制を構築すること
- 災害時に河川管理者等からの支援を受けられる体制を平時から構築しておくこと

「避難準備情報」の名称変更について

本報告を踏まえ、高齢者等が避難を開始する段階であることを明確にするなどの理由から、避難情報の名称を右記のとおり変更した。

